

概要

オンライン流動点計は、燃料油の温度に依存する物性である流動点を測定します。ペルチェクーラーと小容積セルを使用して、 -40°C から $+30^{\circ}\text{C}$ の範囲で流動点を測定します。ほとんどの場合、冷却水は必要ありません。

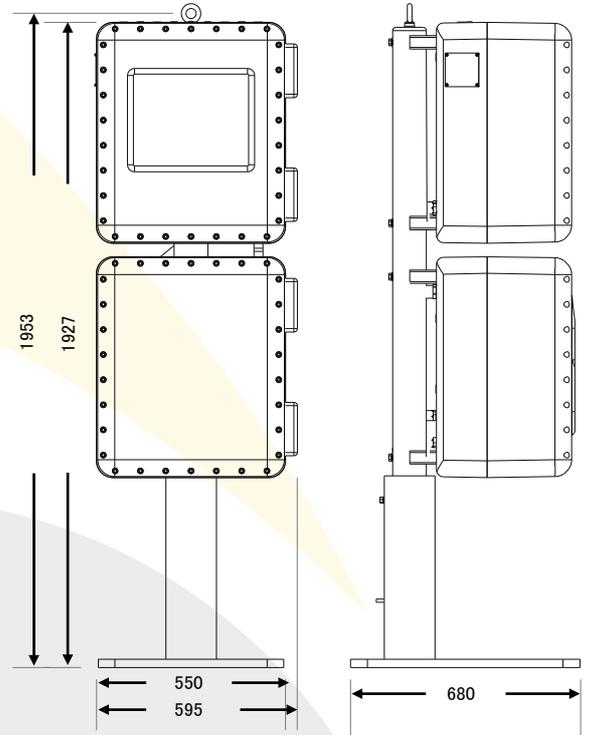
検出部は、真空のセルアセンブリに密封されています。セルアセンブリは、センサーにより真空状態と内部サンプルの漏れ監視しています。測定結果は、ASTM D97、D5853、D5949、D5985、ASTMD7346などの標準的な流動点試験方法の結果と互換性があります。

測定原理

小容積のセルはサンプルを導入し、ペルチェクーラーによって一定の速度で冷却されます。設定された温度間隔で、サンプルはピストンシリンダーによって圧力パルスを与られます。次に、セル全体に接続された差圧センサーによってサンプルの動きが検出されます。

加えられた差圧パルスによりサンプルが動かなくなるまで冷却が続けられます。この温度が無流量点と見なされ、対応する流動点が出力されます。

次に、測定済みのサンプルが加熱され排出され、次のサイクルが繰り返されます。サンプルが低すぎる温度で分析計に入る場合は、分析を開始する前に、ペルチェクーラーの制御を逆にしてサンプルを温めることができます。



寸法: mm
 本体重量: 約415kg
 梱包時重量: 約522kg

特長

優れた繰返し性:

高度な検出アルゴリズムとパルス幅変調可変レート、ペルチェクーラー制御により、従来法より優れた繰返し性を実現します。

クラス最高の冷却性能:

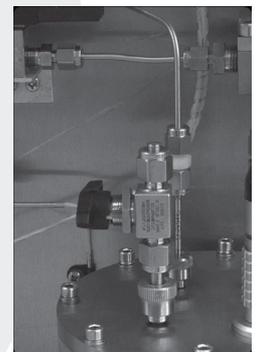
小容積の測定セル、特許取得済みの真空断熱システム、および断熱セルアセンブリにより熱損失が低減されます。

長寿命で少メンテナンス:

真空断熱材は、冷却性能を向上させるだけでなく、凝縮によって引き起こされる測定セルの早期故障を効果的に排除し、氷の形成による冷却エラーを防ぎます。

セルアセンブリの交換:

メンテナンスを計画的に行い、万が一問題が発生した場合のダウンタイムを削減するために、故障時にはセルアセンブリごとの交換をしています。これにより修理のための時間と費用を節約できます。



サンプル条件

サンプル入口温度	最大50°C
サンプル入口圧力	最大5 bar
サンプル出口圧力	最低限必要な流量が確保できること
サンプル流量 (連続)	最小：6 L/H 推奨：12 L/H
サンプル品質	10ミクロン (µm)にろ過する。 サンプルには自由水を含まないこと。

ユーティリティ

計装空気	不要 (標準)
圧力	0.2 bar (オプションのセルまたは電子機器エンクロージャー冷却用)
消費量	通常 5-10 L/H
品質	ISO 8573.1 Class 3 ANSI / ISA-7.0.0
冷媒	飲用水または不凍液(海水は使用不可)
入口温度	予想される最も低い測定点から50°Cを超えないこと。
入口圧力	最大で10bar
出口圧力	最低限必要な流量が確保できること。
流量	最小：10 L/H 推奨：18 L/H
ろ過	100ミクロン
粘度	最大 10cSt
ベント圧力	大気圧
電源	100-240VAC 50-60Hz, 最大500VA

設置条件

設置場所	風雨および日光が直接当たらない場所に設置すること。
周囲温度	+5 ~ +40 °C
周囲湿度	0-95%RH, 結露の無いこと

制御システム

制御システム	ファン無し業務用PC、ソリッドステートハードドライブ内蔵
グラフィックインターフェース(GUI)	17"ガラスタッチスクリーンパネルにより内部のプログラム、最新情報、過去の分析結果、アラームステータスを表示。
言語	日本語を含む多言語から選択可能

認証

防爆エリアでの使用認証	ATEX, IECEx, UKEx, CML日本およびEACEx規格のExd Gas Group B,C,D.
IP等級	IP66/IP67

仕様

測定レンジ	-40°C ~ +30°C 拡張レンジについては、弊社までお問い合わせください。
繰り返し性	±2°C (2σ)
測定間隔	通常4~8分

入力/出力

アナログ出力	絶縁型4-20mA (アクティブ) x 2系統 (流動点およびno-flow)
デジタル(接点)入力	Run / Standby: 運転とスタンバイモードを切り替えます。 Remote Cal: リモートで校正サイクルを開始します。 Remote Val: リモートでバリデーションを開始します。

アラーム	アラームの内容を、重故障、軽故障、オフのいずれかに設定することができます。アラームが起きますと画面に表示され、アラーム履歴に保存されます。
------	---

デジタル(接点)出力	Fatal Alarm 重故障 (NC): 分析計は停止します。 Warning Alarm 軽故障 (NC): 一般的な障害アラーム(表示のみ) New Result 最新結果 (NO): 分析結果が更新されたことを示す。 Data Valid 有効データ (NO): 分析計が現在スタンバイ、校正、バリデーション中ではなく、プロセスストリームで実行されており、データが有効であることを示します。
------------	--

Cal/Val (NO):	分析計が校正またはバリデーションモードであることを示します。 Spill Alarm (NC): リークが検出されたことを示します。
---------------	--

すべての接点定格は	24VDC 0.5A, 230VAC 1Aです。
-----------	--------------------------

デジタル出力	Calibration Valve: プロセスサンプルと校正サンプルと切り替えるために、外部ソレノイドバルブに24VDC信号を送ります。
--------	--

アナログ入力	0-10V または 4-20mA x 4系統 これらの入力は、一般的なフォルトと同様に上下限アラームを設けることができます。
--------	---

デジタル(接点)入力4	最大4つの無電圧外部接点をモニター可能 系統の入力を設定可能(オプション)
-------------	--

通信	Modbus RTUまたはOPC over RS485またはEthernet (TCP/IP)、オプションの光ファイバー付き。オプションのOPCサーバソフトウエア。
----	--



八洲貿易株式会社

拠点	〒
東日本支社	107-8484
長野オフィス	390-0851
名古屋支店	464-0075
四日市営業所	510-0864
大阪支店	534-0025
岡山支店	712-8044
坂出出張所	762-0032
九州支店	806-0021
周南オフィス	745-0034

所在地	
東京都港区赤坂3-9-1	
長野県松本市大字島内4603-5島内駅前テナントビル2階	
愛知県名古屋市千種区内山3-29-10朝日生命千種AMビル5階	
三重県四日市市中里町21-3	
大阪府大阪市都島区片町2-2-48 JEI京橋ビル8階	
岡山県倉敷市東塚6-7-31	
香川県坂出市駒止町1-1-11 JA香川県坂出市支店ビル3階	
北九州市八幡西区黒崎3-9-18 ECS第25ビル7階	
山口県周南市御幸通1丁目5番地 徳山御幸通ビル6階	

Website : <https://www.ybk.co.jp/>
E-mail : yashima_info@ybk.co.jp

TEL	
03-3588-6371	
0263-40-5270	
052-732-1611	
059-347-1371	
06-7166-0512	
086-455-7010	
0877-46-8816	
093-644-2660	
0834-33-2611	